

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日本1月機械受注)

2019/3/13

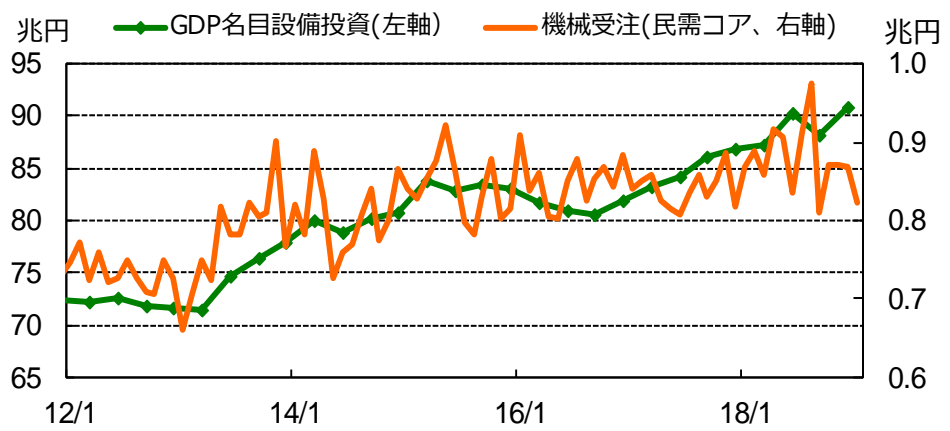
りそなホールディングス 市場企画部

〇概況

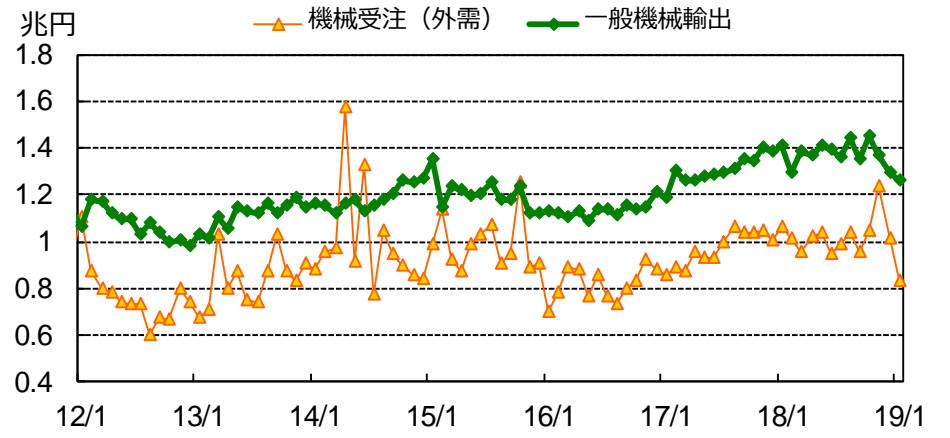
- ◆ 1月機械受注、船舶・電力を除く民需は前月比▲5.4%
- ◆ 1-3月期は▲0.9%の見通し
- ◆ 内閣府は受注判断を「足踏みがみられる」と据え置き

- ✓ 1月の機械受注によると、船舶・電力を除く民間からの受注額（民需コア）は前月比▲5.4%の8,223億円と、市場予想（▲1.5%）を下回った（12月▲0.3%の8,692億円）。
- ✓ 内閣府は受注判断を、「足踏みがみられる」と据え置き。尚、12月時点の民需コア1-3月期の受注見通しでは▲0.9%（季節調整遡及改訂により12月発表値から修正）と減少が見込まれている（10-12月期▲3.2%）。
- ✓ 1月の受注総額は前月比▲7.9%の2兆2,342億円（12月▲6.1%の2兆4,259億円）。
- ✓ 製造業は▲1.9%の3,750億円（12月▲4.4%の3,821億円）と減少。業種別では17業種中8業種が減少。繊維工業、情報通信機械、金属製品などが減少。
- ✓ 非製造業（船舶・電力を除く）は▲8.0%の4,549億円（12月+5.6%の4,943億円）と減少。非製造業全体の業種別では12業種中8業種が減少。運輸業・郵便業、鉱業・採石業・砂利採取業、卸売業・小売業などが減少。
- ✓ 官公需は+2.7%の2,394億円（12月▲11.3%の2,331億円）と増加。地方公務、その他官公需等が増加。外需は▲18.1%の8,277億円（12月▲18.1%の1兆0,103億円）と減少。電子・通信機械、原動機等が減少。代理店経由は▲1.3%の1,279億円（12月+0.3%の1,295億円）と減少。道路車両、工作機械等が減少。
- ✓ 製造業は情報通信機械等の項目での減少は中国等の需要減速による設備投資意欲の減衰によるものだろう。外需も同様に弱さが続いている。非製造業は減少が大きくなっているが、直近の伸びの反動もあるとみられ先行きは省力化投資等による堅調な推移を見込んでいる。

【機械受注（民需コア）とGDP名目設備投資】



【外需と一般機械輸出】



【出所】IN情報センター

◎注意事項
 本資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。